

令和 2（2020）年 12 月市長臨時記者会見の概要と質疑応答

令和 2（2020）年 12 月 1 日（火曜日）
午後 5 時 30 分～6 時 9 分
柏崎市役所大会議室

1 発表事項

(1) 市内での新型コロナウイルス感染症患者（市内 36 例目）の発生について

（主管：防災・原子力課）

11 月 30 日に、市内で新型コロナウイルス感染症患者が新たに 1 名確認されました。

市内 36 例目、柏崎市居住の 60 歳代パート従業員の男性です。行動歴は学校関連の濃厚接触者として健康観察中です。濃厚接触者は県が現在調査中です。

(2) 現段階での、荒浜小学校と松浜中学校の再開などについて

（主管：学校教育課）

荒浜小学校は、予定どおり 12 月 7 日、月曜日から再開し、給食も再開します。ただし、12 月 7 日は給食終了後に放課とし、12 月 8 日からは通常日程とします。児童クラブも併せて再開します。12 月 7 日は午後 1 時 30 分から開設します。

松浜中学校は、11 月 30 日、月曜日から再開しています。

荒浜小学校の教職員は 4 名を除いて全員が勤務可能です。検査結果が陰性および陽性から療養の解除の判断があった児童は登校可能です。

児童および保護者の心のケアは、市の子どもの発達支援課の臨床心理士 2 名と県から派遣していただいているスクールカウンセラー 2 名から対応に当たっていただきます。

学校環境の改善に関しては、職員室の 10 名分の席を会議室に分散して配置します。職員室には透明なパーテーションを設置し、児童と教職員にフェイスシールドを配布します。また、12 月 4 日、金曜日にあらためて大掛かりな消毒作業を行います。

(3) かしわざきスーパー「GO TO イート」の実施について

（主管：商業観光課）

11 月 24 日に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことにより、引換券ハガキの発送を延期していました。国からは、11 月 24 日前後から「Go To」の施策に関する判断は都道府県に委ねるという方向性が示され始めました。11 月 27 日の昼の段階で、新潟県は「Go To」の施策の見直しは行わないというコメントを出しましたので、それを見定めて、27 日の夕方に引換券ハガキを発送しました。

予定どおり実施することになりましたが、柏崎市の状況も踏まえて念のため、11月30日に参加予定事業者の説明会を開催しました。

かしわざきスーパー「GO TO イート」は当初1,900万円の補正予算でしたが、応募が予想を上回り、11月16日に5,700万円の追加補正をして、結果的に7,600万円という大きな事業規模になっています。12月1日現在で参加希望の事業者は153店です。チケット申込者は8,335人で、申込冊数は15,986冊です。テイクアウトやデリバリーでも利用可能です。

(4) 臨時記者会見での市長の発言について

記者会見での私の発言に関して市外・県外からお叱りの言葉などをいただいていたので、私が意図することを正確に申し上げたいと思います。

具体的に申し上げますと、11月23日に荒浜小学校でクラスターが発生したことを公表し、学校の現場で児童の生命を脅かし得るような状況を招いたのは非常に遺憾であり、痛恨の極みであると申し上げました。遺憾という言葉は、非常に残念であるという意味で使ったのですが、けしからんという意味で捉えた方がいらっしゃったようです。学校の先生方や現場の方々にはけしからんなどという認識を持ったことはないということをお知らせ申し上げます。

また、小学生ですので、マスクがずれたりすることは仕方ないことだと申し上げたつもりですが、子どものせいにするなというようなお叱りもいただきました。児童のマスクがずれてしまう状況を批判したり非難したりする気は全くありませんので、ご理解いただきたいと思っています。

(5) 市長による防災行政無線放送について

市長が、毎日防災行政無線で放送するのはいかがなものかというご意見が多くなってきました。私自身は市民の皆さんの生命・財産を守るのが首長の一番大事な仕事だと考えて、文面も考えて自分で放送してきました。しかし、陽性になった方からも、毎日市長が放送することで自分たちが責められているような気がするという声も頂戴していますので、今日の放送をもって自動音声に切り替えさせていただこうと思っています。また新たな事態になったならば、私自身の声で放送したいと考えています。

2 質疑応答

◎市内での新型コロナウイルス感染症患者（市内 36 例目）の発生に関する質問

記者：これまで学校関連は、濃厚接触者と認定されて検査を行っていたと思うが、今回は健康観察中に症状が出たので検査を受けたという認識でよいか。

市長：そのとおりです。

◎荒浜小学校と松浜中学校の再開などに関する質問

記者：荒浜小学校の再開に当たり、他の学校と比べて授業中の特段の感染症予防策などどのようなことを考えているか。また、子どもたちが、現在ケアが必要な状況なのかということも含めて、スクールカウンセラーがどのようにケアしていくのか伺いたい。

市長：学習活動に関しては、フェイスシールドなども使いながら今まで以上に対策します。

学校教育課長：学校再開後 3 日間は、臨床心理士 2 名とスクールカウンセラー 2 名を配置して児童、保護者の希望者に対応することにしています。より詳細な部分は今週中に練り上げていく予定です。

現在把握している限りでは、大きな体調の崩れや心身の不調を訴える方はいません。

記者：現在、児童は全員退院して学校に通える状態になっているのか。

学校教育課長：詳細は正確にお答えすることができません。

記者：教職員は 4 名を除き、全員勤務可能ということだが、この 4 名と他の方の違いは何か。また、職員室に透明なパーテーションを設置するなどの対策は、他の小中学校で新たに対策したところはあるか。

学校教育課長：教職員に関しては、これ以上の情報を把握していません。パーテーションに関しては、配布している学校もありますが、配布していない学校もある状況です。

市長：荒浜小学校のパーテーションは12月7日の学校再開に向けて取り急ぎ行ったものです。他校でも同じような状況が起こり得るということも含めながら、早急に対応を考えなければならないと承知しています。

また、時間がかかるとは思いますが、クラスターが起きた原因もできる限り見極めながら、市内小中学校にどのような施策を展開しなければならないかを考えていかなければならないと思っています。

記者：教室での感染症対策、先生と児童の接し方などはどのように考えているか。

市長：より飛沫を抑えるためにマスクの上からフェイスシールドをします。接し方については教育委員会からお話しします。

学校教育課長：より一層のマスク着用徹底、校内で3密回避できる場所の活用、給食やその他の教育活動で感染リスクが高いと思われるところでの3密回避対策の徹底を進めていきたいと思っています。

記者：学校の規模から考えると、教職員が4名いないのは影響が大きいと思うが、授業を行うに当たって県から教員の応援が必要なのか。また、4名の中に担任が含まれているか分からないが、変則的な進め方になるのか。

学校教育課長：県からは、必要があれば派遣するという話になっていますので、これから工夫をして考えていきたいと思っています。

記者：これから発熱する方などもいると思うが、今後、児童や教職員の一律の検査などは考えているか。

市長：一律の検査などは今のところ考えていません。検査を受けた時点では陰性であっても、次の瞬間には陽性になっている可能性もあります。そう考えると、毎日検査になってしまいますし、非合理だと思います。児童教職員間や家族間でのコミュニケーションをさらにとり、体調に変化がある方に対して検査などを行っていききたいと思っています。

◎柏崎 PCR 検査センターの休止に関する質問

記者：柏崎 PCR 検査センターが 12 月 1 日から休止と伺った。市内の医療機関で検査できるからだと思うが、PCR 検査センターの方が手軽に検査できると思う。その辺りはどう考えているか。

市長：市内の病院や複数の個人クリニックなどでも対応できる体制が整ったことから、公共施設における PCR 検査センターを休止にしても支障はないという判断をしました。また、PCR 検査センターでは検体を採取した翌日でないと結果が出ませんが、市内の病院やクリニックなどでは即日判定できるシステムが充実してきたということも理由の一つです。もし、病院やクリニックなどでは賄い切れないほどの感染者が出てしまった場合には、PCR 検査センターを再開しなければならないと思っています。

◎かしわざきスーパー「GO TO イート」の実施に関する質問

記者：かしわざきスーパー「GO TO 忘新年会」の実施に関してはどのような検討状況か。

市長：開始の時期を見合わせている状況です。忘新年会に歓送迎会を加えて、時期を延ばすなどの対応をして皆さんからのニーズにお応えしたいと考えています。